広告なしのiPhone向け騒音計アプリおすすめ比較（2026年版）

iPhone向けの広告なしdB測定アプリを比較。測定値を時系列で記録できるアプリと、現在値しか表示しないアプリの違いがわかります。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: August 12, 2026 • 生産性

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/blog/best-decibel-meter-app-iphone-without-ads



広告が騒音計アプリを台無しにする理由

音量を測ろうとiPhoneを取り出したとき、画面でちらつくバナー広告や測定を中断するポップアップほど邪魔なものはありません。騒音レベルの測定には集中力、安定した構え、正確なタイミングが必要です。広告はその三つすべてを壊してしまいます。それにもかかわらず、App Storeにある無料の騒音計アプリの多くは広告だらけです。この比較記事では、2026年のiPhone向け広告なしdB測定アプリのベストを取り上げ、本当に役立つアプリと単なるお遊びアプリを分けるものは何かを説明します。

騒音計アプリで確認すべきポイント

比較に入る前に、どの機能が実際に重要なのかを理解しておきましょう。基本的な騒音計アプリは、iPhoneのマイクからの測定値をdBまたはdBAでリアルタイム表示します。これは最低限の条件にすぎません。本当に役立つのは、さらに先へ進んだアプリです。

- 時系列での記録 — 測定ごとにタイムスタンプ付きで保存し、履歴として積み上げられること
- オフライン動作 — インターネット接続なしで動くこと。地下室、工場の現場、電波の弱い地方では特に重要です
- 広告なし — 視覚的な雑音も音による中断もない、すっきりした画面
- 書き出しや共有 — 騒音データを証拠資料や苦情申し立てのために共有できること
- 精度 — 端末のマイクを適切に扱い、必要な場面でA特性（dBA）の測定値を表示すること

アプリ1：NoiseLedger — 記録用途で最適な選択

NoiseLedger: dB Meter Logがこのリストの他のどのアプリとも違うのは、単なるリアルタイム測定器ではなく、最初から騒音の記録装置として設計されている点です。他のアプリが「今この瞬間の音量」を見せるのに対し、NoiseLedgerは一つひとつの測定をタイムスタンプ付きで記録し、端末内のローカルなログに保存します。

そのため、時間をかけて騒音を記録に残す必要がある人には理想的です。日々の曝露量を把握したい建設作業員、騒がしい隣人について証拠をそろえたい賃借人、赤ちゃんの部屋の近くの音量を見守りたい保護者などが該当します。アプリを開き、録音をタップするだけで、すべての測定値が正確な日付と時刻とともに保存されます。アカウントは不要。インターネットも不要。データはすべて手元の端末に残ります。

画面は簡潔で目的に集中しており、広告は一切ありません。バナーも、全画面広告も、報酬型動画の勧誘もありません。はっきりした測定値と記録の一覧、そしていつでも履歴を見返せる機能が手に入ります。

iPhone版NoiseLedgerをダウンロード — App Storeで無料

アプリ2：Decibel X

Decibel Xは、iPhone向けのリアルタイムdB測定アプリの中でも特に作り込まれた一本です。プロ機器のようなメーター表示でdBAとdBCの値を示し、ピークホールド機能も備えています。画面は洗練されており、リアルタイム表示の反応も良好です。

ただしDecibel Xは基本的にリアルタイム測定器です。NoiseLedgerのようにタイムスタンプ付きのログを保持しません。現在値とピーク値は見られますが、後から参照できる履歴は残りません。一部機能は有料で、無料版には広告が表示されます。

向いている用途：記録が不要で、今の音量をすばやく確認したいとき。

アプリ3：Sound Level Meter Pro

Sound Level Meter Proは、ダイヤル型の表示でリアルタイムのdB値を示す、わかりやすい画面構成です。セッション中の平均値とピーク値を追跡してくれるため、短時間の測定には便利です。素直で実用的なアプリと言えます。

欠点は、セッションのデータがログとして残らないことです。アプリを閉じた時点で測定履歴は消えてしまいます。また一部の機能にはインターネット接続が必要で、無料版では時折広告が表示されます。

向いている用途：静かな環境での、その場限りの手早い測定。

アプリ4：NIOSH SLM

NIOSH Sound Level Meterは、米国国立労働安全衛生研究所が開発したアプリです。無料で広告がなく、職場の騒音測定に特化して設計されています。A特性（dBA）を用い、OSHAの基準順守で重要となる時間加重平均（TWA）を表示します。

NIOSH SLMは、専門的な労働衛生の現場では非常に優秀です。弱点は、複数セッションのログを保存しない点です。手書きのメモを併用する単発の測定セッション向けに作られています。日をまたいでスクロールして比較できる、恒久的な履歴も備えていません。

向いている用途：TWA測定を必要とする労働衛生の専門家。

アプリ5：Too Noisy Pro

Too Noisy Proは教室向けに設計されており、騒音レベルに応じて色が変わる視覚的なメーターを表示します。教師にとっては楽しく使いやすい一方、本格的な測定ツールではありません。測定値は記録されず、dB表示も簡略化されており、目的は正確な騒音の記録ではなく子どもたちの行動管理にあります。

向いている用途：教室の騒がしさを抑えたい教師向け。本格的な測定や記録には不向きです。

決定的な違い：リアルタイム測定器か、騒音ロガーか

この5本を比べて浮かび上がる最大の違いは、現在値を見せるアプリと、記録を積み上げるアプリの差です。5本ともリアルタイムのdB値は表示できます。しかし、セッションをまたいで残り、完全にオフラインで動くタイムスタンプ付きのログを提供するのはNoiseLedgerだけです。

騒音の問題を説明しようとした経験があれば――大家、人事部、建物の管理者、あるいは自分自身に対してであっても――記憶に頼ることの難しさがわかるはずです。「先週の火曜の夜はうるさかった」では証拠になりません。火曜の23時04分に78dB、水曜の23時47分に81dB、金曜の22時58分に85dBという記録があれば、それは明確なパターンです。それこそが立証できる資料です。

オフライン利用がなぜ重要なのか

多くのdB測定アプリは、広告の表示、クラウドへのデータ同期、素材の読み込みのためにインターネット接続を必要とします。これは電波状況の悪い場所で騒音を測りたいときに現実的な問題になります。地下の住戸、工場の現場、地下駐車場、電波の届きにくい地方などです。

NoiseLedgerは完全にオフラインで動作します。すべてのデータはiPhone内にローカル保存されます。ネットワークに一切依存せず、騒音を測り、ログを見返し、資料を積み上げられます。これは些細な利便性ではありません。一部の利用者にとっては、そのアプリが自分の状況で実際に使える唯一の理由になります。

NoiseLedgerが向いている人

次のいずれかに当てはまるなら、NoiseLedgerが適した選択です。

- 隣人、近所の店舗、工事現場などの騒音を記録に残したい
- 騒がしい環境で働いており、日々の曝露量を把握したい
- 特定の場所の騒音レベルを数日から数週間にわたって観察したい
- オフラインで動き、広告がなく、アカウント登録も不要なアプリがほしい
- 測定の邪魔をしない、すっきりと目的に集中した画面がほしい

このアプリを単なる物珍しいdB測定器ではなく本当に役立つものにしているのが、記録機能です。iPhoneを瞬間値を映すだけの表示装置から、履歴を伴った本物の測定ツールへと変えてくれます。

iPhoneでNoiseLedgerを無料で試す ― 広告なし、アカウント不要

最終評価

iPhone向けのdB測定アプリの多くは、広告付きで似たり寄ったりのリアルタイム測定器です。NoiseLedgerが別格なのは、測定値を時系列で記録し、オフラインで動作し、データを端末内に非公開のまま保つからです。その場限りの数値以上のものーー記録が必要なら、このリストでその目的のために作られたアプリはこれだけです。

労働衛生の場面ではNIOSH SLMが有力な次点であり、手早い確認にはDecibel Xで十分です。しかし、広告に邪魔されずiPhoneで騒音の履歴を積み上げたい人にとって、明確におすすめできるのはNoiseLedgerです。

iPhone版NoiseLedgerを今すぐダウンロード

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). 広告なしの*iPhone*向け騒音計アプリおすすめ比較（2026年版）. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o.. https://appstoryo.com/ja/blog/best-decibel-meter-app-iphone-without-ads
© 2026 lapnito.cz s.r.o.